

# 精華町教育委員会会議録

平成27年（第8回）

1 開 会 平成27年7月28日(火) 午後2時00分  
閉 会 平成27年7月28日(火) 午後3時10分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 細川委員  
太田教育長 (欠席委員：蓑毛委員)

3 出席事務局職員  
岩橋教育部長 竹島学校教育課長  
仲村生涯学習課長 北澤総括指導主事  
山崎学校教育課係長

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第8回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成27年第7回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

・特になし。

【採 決】

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

教科書採択について1点報告する。今年は28年度から4年間にわたって使用する中学校の教科書を採択する年になっている。膨大な教科書の中から選んでいくことになるので、各教育委員に分担して調査をしっかりおこなった後、全体で協議することにさせていただくので、よろしくお願ひしたい。

先日、山城教科用図書採択地区協議会でこの件について協議が行われ、

一定の結論が出た。この際の協議の視点として4点のことが挙げられた。

1点目は、山城地方の学力が京都府全体に比べて下回っているという、この間言われている課題である。特に下位層の生徒が取り組めるような工夫や学力を伸ばしていくに当たっての発展的学習への手だてをどのように工夫していくかという問題、また、生徒が主体的に学習に取り組む、アクティブラーニングについての工夫と対応などの学力向上の視点である。

2点目は、経済格差や貧困の今日的な課題の中で生徒が家庭学習や自主学習がしやすいかどうかという点で、生徒の興味・関心を高める視点についてである。

3点目は、教員の世代交代により若年化が進んでいる中で授業の質を確保していく視点から、若手の教員でも授業で使用しやすいかという点。

そして4点目が、教育を取り巻く多様な価値観の中で、公教育として多種多様な意見がより反映されているか、あるいは公平性が担保されているか、である。

また、各市町教育委員会等で教科書展示をされており、これにたくさん意見が出ている。この件についても参考にしながら協議を進めた。結論については、結果通知が後日送られてくるので、またお渡しする。これらを踏まえて、8月の教育委員会で町としての採択を行いたい。なお、採択結果は9月1日以降に公表することとしている。

#### (4) 議決事項

なし

#### (5) 諸報告

教育部長 1 7月22日開催の子ども議会について

当日の様子が新聞3紙で報道され、精華町の教育のPRにつながったと考えている。今回は特に町の未来の担い手ということで、町として現在進められている地方創生の総合戦略に子どもたちの生の声を取り入れるという意味で注目をしていただけたと考えている。今後も工夫をしながら子どもたちが生き生きとし、活発な議論ができるよう企画をしていきたい。

教育部長 2 平成27年度精華町いじめ防止対策推進委員会について

この委員会は、いじめ防止対策推進法に基づく教育委員会設置の附属機関である。委員長には京都教育大学教授で大津市教育委員長の桶谷守様、弁護士である草地邦晴様、精華町内開業医の桑原勲様、臨床心理士である岩井秀世様の4名で構成している。

初回の会議として、本町の教育の概要を報告させていただいた後、委員の皆様から話題提供をいただいた。本日のこの教育委員会の後に行われる研修会で桶谷先生をお招きしている。重大事態は起こらないにこしたことはないが、起こり得る前提の中で、発生時における対処について先生の豊富な経験を踏まえたお話を聞かせていただけると考えている。

教育部長 3 平成26年度決算関係資料について

決算の取りまとめ作業を行い、町監査委員による監査を受けている。この決算審査終了後、会計全体の決算書を9月議会に提出することとなるが、決算審査を受けている現段階で、事前に教育委員に確認いただきたい。後々に教育委員会が議会に報告する、教育委員会評価についても本資料を利用するので、お目通しをいただき、お気づきの点などご指摘いただきたいと考えている。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

小学校での問題事象は1件も報告はなかった。ただ、不登校が16名ということで、先月の10名から増加した。6月末の段階で各学校から調査票を提出いただいているので、それをもとに今後の対応をしていきたい。

中学校の問題事象の生徒間暴力、対教師暴力のところで1件あった。生徒間暴力は中学2年生のけんかである。対教師暴力は、けんかを仲裁に入った教師に、なぐるまねをしたら顔をかすったもので指導は行っている。その他には5件、授業からの逃避がある。中学校についても

不登校件数が33件という数値になっている。5月の19件から極端に増えているので、今後対策を強めていきたい。

総括指導主事 2 相楽地方中学校総合体育大会結果について

7月19、20日の2日間にわたり開催され、どの種目においても良い結果を残してくれた。この後、山城大会、京都府大会が連続して行われている。それらの結果についてはまだ届いていないが、各学校から健闘してくれていると聞いている。精華西中学校から1名、男子100メートル、200メートルで全国大会に出場することは報告したとおりだが、その他の競技でも健闘が目立っている。

学校教育課長 1 精華中学校の校舎の改築について

新校舎について、予定どおり7月16日に校舎棟の引き渡し検査を終え、翌日の7月17日に業者から引き渡しを受けたところである。生徒たちは検査が終わった後、机と椅子を持って新校舎へ移り、翌日から部活動をしているという状況である。

引っ越し作業を27日の月曜日から行っており、あわせて、備品の搬入やカーテンの設置を行っていく。電話工事や警備関係の設置を7月中に終え、教職員には8月1日から新校舎で学校運営を行ってもらい、生徒たちは、9月1日から新校舎で授業を受けることとなる。また同日、精華町長から学校長への校舎棟の鍵引き渡し式を行わせていただく予定にしている。8月には、旧校舎の解体工事、プール新築、体育館の改修について着手していく。来年の2月末をめどに、全ての工事を終えていく予定にしている。また、議会の総務教育常任委員会に7月22日に新校舎を見学していただいた。引き続き安全第一で工事を進め、その都度進捗状況を報告させていただく。また委員の皆様にも新校舎を見ていただきたいので、

そのときにはよろしくお願ひしたい。

生涯学習課長 1 子ども祭りの日程について

7月のはじめに子ども祭り実行委員会があり、祭りの日程が3月12日に決定した。当初の開催時期とずれるので内容については今後の実行委員会で検討していくこととなるが、日程が変更となったことで協力団体の中には参加できる、できない団体も出てくると思われる。今まで参加していただいた団体については時期が3月になった連絡を個別に行い、9月の広報にも掲載する予定としている。

【委員の意見等】

伊藤委員長 不登校の内容について、詳しく教えてほしい。欠席がちという形なのか、家庭的な事情なのか、それとも深刻な内容であるのか。

総括指導主事 不登校が継続している要因としては、家庭から学校へ送り出すという気持ちが弱いというものが数件ある。また、兄弟関係で同時に2人とも休んでしまうケースも見受けられる。

伊藤委員長 学校の関わりはどうか。学年での取り組みなのか、学校全体の体制で家庭訪問をしながら保護者との接点を持つなど前向きな形でやっているのか。

総括指導主事 基本的には担任が連絡や家庭訪問を行い、それに加えて学年で相談しながら動いているという報告が上がってきている。ただ、兄弟で休んでいるケースなど学年任せでなく、学校全体で取り組むべき問題だと考えている。

教育部長 学校で作成してもらった詳細な報告を今点検している。原因分析として想定される幾つかの分類がある。いじめ、貧困、保護者のDVなど、学校現場と連携しながら把握し対応していかなければならない。

伊藤委員長 現象が軽いうちであればそこまで危機感を持たない。し

かし結果的に考えると、早期対応することで大きな問題と  
ならないケースもある。不登校の中身を学校がしっかりキ  
ャッチし、個々の対応を的確に行わなければならない。

中谷委員 子ども自身の中に抱えているものがあり学校に行きたく  
ないという事もあると思う。その辺の背景を探っていく  
ために、家庭訪問や友達関係を調べるなど様々な角度か  
ら見ていく必要がある。特に中学校の1、2年生での不  
登校は深刻になってくる。その辺を探っていかないと後  
手後手になる。

伊藤委員長 その日の生徒の表情や態度を見て、子どもの様子を感じ  
られるアンテナをいかに張れているか、危機管理能力は必  
要。のんびりと構えていると深刻な結果になるので常に危  
機意識を持って対応しなければならない。

伊藤委員長 精華中学校の校舎改築にあたっては記念式典のようなも  
のはあるのか。

学校教育課長 全ての工事が終わってから年明けに竣工式を開催したい  
と考えている。

中谷委員 精華中学校の校舎完成にあたり、住民の皆さんへ周知す  
る機会はあるのか。

学校教育課長 広報「華創」9月号に掲載する予定である。

伊藤委員長 近畿大会や全国大会に遠征する際に一定の補助があるの  
か。

学校教育課長 運動競技等の補助が精華町独自の条件である。参加費や  
交通費などの費用面を補助している。

生涯学習課長 スポーツ奨励金として一部費用負担の制度もあるのでそ  
れを利用されている方もおられる。剣道や空手で全国大  
会に出るなど、学校代表以外の個人で出場される方が多  
い。

細川委員 先日の子ども議会、大変楽しく拝見させていただいた。  
子どもたちを少人数に分けた新しい方法で、拝見させて  
頂いたほうとしては、子供たちの率直な意見が聞けてよ  
かったと思う。

(6) 後援関係

6月から7月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数12件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が12件、うち社会教育係関係が10件、図書係は0件、体育係関係は2件。

(7) 8月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第8回教育委員会の閉会を宣言。